



新型コロナウイルス感染症に負けない！

街の声 今、思うこと。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常を大きく変えています。今回は、そんな中でもさまざまなことに取り組んでいる皆さんの声を聞きました。

いつの時代も変わらぬ願い

黄鮒に祈る風習は、昔、天然痘が流行した際に田川で釣れた黄色の鮒を、病人が食べて治癒したという伝説が由来です。いつの時代も無病息災への願いは変わらないと実感しています。

人々から愛される黄鮒が、さまざまなものに商品化され、脚光を浴びたことはうれしく思います。大変な状況ですが、これからも心を入れて、黄鮒グッズを作り続けます。

ふくべ洞社長
小川 昌信さん



ハッシュタグで情報を共有

「#黄ぶな運動」のきっかけは、コロナ禍で注目されたアマビエの宇都宮版を広めていけないかと思い、インスタグラムに黄鮒にまつわる投稿をしたことから始まりました。今では運動の輪も広がり、さまざまな情報が共有されています。

お茶は殺菌作用があり、免疫力も高まります。これからもこのような有益な情報をハッシュタグを付けて発信し続けたいと思います。

銘茶関口園社長
関口 慶介さん



自宅にいても笑顔になれる話題作りを

「来らせ本店(馬場通り2丁目)」では、サーマルカメラの設置など感染症対策を徹底しています。また、デリバリーサービスも開始し、パースデー餃子など、自宅にいても笑顔になれる話題作りも企画しました。

今できることは、油断をせずにこの体制を維持し続けること。宇都宮が一体となってこの難局を乗り越えていければと思います。

宇都宮餃子会事務局長
鈴木 章弘さん



ジャズの街の火を灯し続けるために

演奏する場が無くなってしまったミュージシャンの支えになればと音楽家支援の基金を設立しました。

また、ジャズの街の火を灯し続けるため、YouTubeを使って自宅からジャズを楽しめるライブ配信を行いました。

先の見えないコロナ禍ですが、今後もライブ配信などを通じて、全国にジャズの街の音楽を届けていきたいです。

宇都宮ジャズ協会会長
鈴木 邦乙さん



さまざまな団体の取り組みを紹介／

まちづくりセンター「まちぴあ」ホームページでは、さまざまな社会貢献活動などを行う皆さんを紹介する「コロナに負けるな！団体紹介」を開設しました。

ぜひ、ご覧ください。

問まちぴあ ☎(661)2778



▲まちぴあ
ホームページ

<http://u-machipia.org/coronaarchive.html>

感じた温かい思いや後押し

今、何ができるかを考え、クラウドファンディングを始めました。協力してくれた多くの人の温かい思い、後押しを感じ、改めて「カクテルの街宇都宮を守ろう」という思いです。

バーは、場所と空間を提供するのが醍醐味。気分転換でき、癒しを感じられる場所でありたいと思っています。

止まない雨はないと信じ、できる限りの感染症対策を行って、お客様をお待ちしています。

宇都宮カクテル倶楽部代表幹事
武内 博さん

